

ピンクリボンNEWS japan

2015年度
春号
Vol.4 No.1

発行人 認定NPO法人 J.POSH

編集 ピンクリボンNEWSjapan 編集委員会

発行所 J.POSH事務局〒538-0043 大阪市鶴見区今津南2丁目6番3号 TEL.06-6962-5071

J.POSH
日本乳がんピンクリボン運動®

TOPICS

入浴着「バスタイムカバー」 モニターアンケートについて

J.POSHは乳がん手術経験者の方が傷あとを気にせずに入浴できるように、衛生面などに配慮して作られたバスタイムカバーのモニターを募集しました。現在モニターアンケートがほぼ返送されてきています。

同商品は市販されているものの、まだまだ認知度が低く、使用者の声も広く伝わっておらず、評価が難しいものでした。J.POSHとしても一度、優れている点や改善希望だけでなく、いろいろな使用方法についてのアイデアも合わせて確認しようとモニターを募りました。

モニターの方には、カバーの使い方や着用の感想、お風呂以外での活用方法についてアンケートをお願いし、バスタイムカバー装着については11名が「人目を気にせず入浴できる」とした一方、14名が「人目を引き易い」と回答。バスタイムカバーの良い点として22名が「着け心地がよい」、改善点として11名が「着用の仕方がわかりにくい」を挙げています。また、全体の感想として、バスタイムカバーの認知度がアップし、使用できる施設が広がって欲しいとの声が多く寄せられました。

バスタイムカバーは、手術痕をやさしく隠して入浴できる専用の入浴着で、着用したまま入浴でき、着用者とまわりの方々の双方の視線に配慮して作られたものです。

専 用 入 浴 着 バ ス タ イ ム カ バ ー



↑バスタイムカバー（前面）

←バスタイムカバー（背面）

■素材:ナイロン69% ポリウレタン31%

■サイズ:2サイズ

(M-L: 68 ~ 83cm, 2L-3L: 84 ~ 98cm)

■製造元:株式会社ブライトアイズ

詳細な質問項目と回答結果は以下の通りです。

アンケートの内容

- A. バスタイムカバー着用時のご感想
- B. バスタイムカバー利用の際の状況
1. 家風呂での入浴時
 2. 温泉、銭湯などの大浴場での入浴時
 3. その他の浴場での入浴時
 4. 入浴以外での利用について
上記B-1 ~ B-4、①利用したor利用しなかった、②ひとり入浴or家族での入浴、③感想
- C. バスタイムカバー全体のご意見、ご感想、利用方法、アイデアについて

⇒ 次ページへ

ANSWER

質問A バスタイムカバー着用時のご感想

◎バスタイムカバー自体の優れている点

- ・つけ心地が良い …………… 22名
- ・すぐに乾く …………… 13名
- ・色が自然 …………… 12名

☆バスタイムカバー自体の改善希望点

- ・着用の仕方がわかりにくい …… 11名
- ・切除した方としない方で凸凹がでる 7名
- ・紐の乾きが悪い …………… 6名

◎バスタイムカバー装着時の優れている点

- ・人目を気にせず入浴できる …… 11名
- ・同浴者に傷を見せず、相手が気を遣うことが避けられる …………… 3名
- ・自分で傷口を見なくて済む …… 2名

☆バスタイムカバー装着時の改善希望点

- ・人目を引きやすい …………… 14名

質問Aをみると、バスタイムカバー自体は、乾きやすく着け心地が良いと概ね好評でしたが、紐が本体に比べると乾きにくい、紐の結び方に迷った、切除した方としない方で凸凹がでるなど、改良が必要とする指摘もあり、また、色や形のバリエーションが欲しいという要望もありました。バスタイムカバーを着用することに関しては、人目に対する精神的負担が軽減された、自分が直接に傷を見なくて済むので気分的に大変楽になったなど、積極的に入浴を楽しめるようになったという感想がありました。一方で、カバーを着用することで逆に注目を浴びてしまう、着けても着けていなくても好奇の目で見られることに変わりない、それなら着けた方がいいかとも思うといった感想もあり、個人差を感じさせられました。

ANSWER

質問B バスタイムカバー試用の際の状況

※回答者数70名

1. 家風呂での入浴時試用 …………… 41名

内 同浴者あり(姉、娘、幼児) … 7名

※モニターのため家風呂で試用もあり、通常利用者数とは違うと思われます。

2. 温泉、銭湯などの大浴場での入浴時試用 … 29名

内 同浴者あり(母、義母、夫、子供、嫁、友人) 15名

その他の浴場での入浴時試用 …… 5名

内 同浴者あり …………… 2名

友人や家族と入浴された時の感想としては、同浴者から傷跡が直接見えないので気兼ねなく入浴できたと言われたとの報告もありました。

入浴以外の利用方法も寄せられています。

ANSWER

質問B-4 入浴以外での利用について

☆エステ・オイルマッサージでの利用

- ・施術者が気を遣わずに済む

☆乳がん診療時に利用

- ・ブラジャーを外す手間が無く楽だった
- ・つけたままCTが撮れた

質問C バスタイムカバー全体のご意見、ご感想、利用方法、アイデアについて

質問Cには多くのご意見、ご提案がありました。一番多かったのは、バスタイムカバーの認知度と理解度のアップです。一般の方、入浴施設、行政機関、乳がんサバイバーの方々など、まだまだバスタイムカバーの存在が知られていません。J.POSHもアンケートでいただいたご提案を検討し、各方面への認知度・理解度アップに繋げる活動を考えています。

以下、いただいた提案や利用方法のアイデアをご紹介します。

使用環境への提案

- * 着用について、入浴施設に簡単に説明できるカードのような物があればよい
- * 一般の入浴者の理解を求めするためのバスタイムカバーのポスター設置
- * 乳がん患者さんへの認知度をあげるため、各病院にバスタイムカバーのチラシを配布する

利用方法へのアイデア

- * バスタイムカバーの紐は、カバー本体の中に隠せるようにする

⇒ 次ページへ

今回中間報告として、バスタイムカバー・モニター結果を掲載しましたが、まだまだ、サバイバーの方々や入浴施設への周知も必要と感じました。そこでJ.POSHとしましては、脱衣場などに掲載できるポスター（A3版）や浴室の戸口に貼るステッカー（ハガキサイズ）をより多くの入浴施設に配布することで、バスタイムカバーの認知度向上を目指す「ひろめよう専用入浴着推進プロジェクト」を準備中です。



制作中の専用入浴着推進プロジェクトステッカー

温泉パートナーへの説明会を実施

黒磯観光協会(荻原正寿会長=栃木県那須塩原市)では2月16日、地元・板室温泉旅館組合の女将など約20人が集まって、今後のピンクリボン活動の進め方などについて勉強会を開きました。当日はJ.POSHの十亀事務局長が活動内容など



ピンクリボン活動の説明を熱心にお聞きになる板室温泉旅館組合の皆様

を説明。参加者から熱心な質問も相次ぎました。

同組合はJ.POSHが提唱する《温泉パートナー》の主旨に賛同され、各旅館ごとにバスタイムカバー着用入浴を歓迎していくことなどで歩調を合わせていただけることになりました。

ところで、同温泉内にある籠岩神社には、左胸をあらわにしたお地蔵様が何体か祀られている。「乳がん治癒のお礼に寄贈されたという言い伝えがあり、いわば当温泉は古くからピンクリボン活動を行ってきた。これからJ.POSHさんと一緒に取り組んで、情報発信に努めていきたい。」(荻原会長)と話していました。



「ピンクリボン温泉ネットワーク」はJ.POSH温泉パートナーへの参加を通じ、乳がんの手術をされた方にも温泉を楽しんで頂ける環境作りに取り組む、全国の温泉施設のネットワークです。

新 啓発用パネルを作成しました。貸出しを5月より開始します。

新啓発貸出し用パネルA1版とA2版をそれぞれ2セット作成しました。貸出料は不要ですが、返送送料が必要です。ご希望される方は、事務局までご連絡下さい。また、A3版については、ホームページからダウンロードできますのであわせてご利用下さい。

※パネルの種類と内容

① 乳がんの基礎知識



② 自己検診(マンマチェック)の勧め



③ J. POSHの理念と活動概要



パネルの大きさ(目安)

A1サイズ

よこ 594mm×たて 841mm

A2サイズ

よこ 420mm×たて 594mm

※貸出期間／貸出: イベント日の1日前

返却: イベント終了3日まで

期間: 1週間以内としますが、イベント期間、予約状況で調整を行います。長期の貸出はお断りします。

※配送料／貸出配送: J.POSH負担

返却配送: 借出し者負担

乳がんTure-Zure

リレーコラム第11回

幸せ運ぶ、ラッキーピンクリボン・バッジ

たけべ乳腺外科クリニック 院長 武部 晃司

たけべ乳腺外科クリニックは高松市にある乳腺・甲状腺専門クリニックです。高松駅から約7キロ南に位置し、田園風景が広がるのどかな場所にあります。今年の5月で開院してまる18年が経過したことになります。でも、まだ建物は綺麗ですよ(笑)。当院は検診から精査、手術、術後薬物療法、再発治療、そして緩和医療までを行う有床診療所です。今までに2,500人以上の乳がん患者さんの手術・治療をしてまいりました。乳がんの一次検診では年間5,000人程度の対策型検診を行っています。その成績は各種学会、学会誌で発表しておりますが、高い評価をいただいております。

たけべ乳腺外科クリニックにて
武部晃司院長

さて、今回は当院の看板犬である4歳メスのラッキーについてお話ししたいと思います。ラッキーは高価な犬ではありません。柴系の雑種です。ラッキーは1歳半までであるお宅で飼われていました。その家には百頭に迫る犬が飼われていました。飼われていたというよりほとんど放置されており、いわゆる多頭飼い虐待が日常になっておりました。そこで犬救出のボランティアの介入があり、救出された犬のうちの一匹がラッキーなのです。本来なら保健所に引き取られ、いわゆる「処分」される運命にありました。

うちのクリニックのスタッフがその救出ボランティアに参加した縁で、ラッキーは僕が引き取ることになりました。自宅では飼えないので、クリニックの裏の僕の寝泊まりする離れの横で飼っています。ラッキーの一番の魅力はまんまるな尻尾です。本当にコンパスで描いたような丸い形をしています。

早朝、クリニックに着いたら早速ラッキーと散歩に出かけます。根っからの早寝早起きの僕ですので、早起き

は全然苦になりません。クリニック周辺ののどかな田園地帯がお気



Face bookにアップされたラッキー花めぐり

に入りの散歩コース。春から秋にかけてこの付近はいろいろな花が咲きます。ラッキーとの散歩でその花とラッキーの写真を撮ることがとても面白くなり、僕の日課になりました。その様子は毎日僕のFacebookにアップしています。どなたでも見られるように公開にしていますから、犬好き、花好きの方は是非ごらんください。

ところで以前より、患者さんから乳がんになり入院や抗ガン剤治療の時に愛犬・猫の飼育が困難になり、どうしましょうか?という相談を何度か聞かされました。ペットを終生飼い続けるためにも飼い主が健康であること、そのために検診を受ける必要があることを、患者さんたちに伝えてきました。香川県は飼い主の飼育に対する意識が低く、捨て犬をする、保健所に処理を依頼する、放し飼いをする、野犬・猫に餌を与える、多頭飼いをするなどがあちこちで見受けられ、そのため行政での犬猫処分率が全国ワースト1となっています。ラッキーピンクリボンは、乳がん検診受診率の向上、そして人間の身勝手な行動で不幸になる犬猫を少なくするというペット飼育意識向上の二つの願いを込めております。キャッチフレーズは『幸せ運ぶラッキーピンクリボンバッジ~皆さん乳がん検診を受けましょう!また不幸なペットを一匹でも減らせますように!』です。なお売上金の全額を、乳がん検診の啓蒙活動を積極的にされている「ピンクリボン香川」と虐待犬救出ボランティア団体「アニマルスマイル香川」に全額寄付することにしております。



ラッキーピンクリボンバッジは2種類あります。詳細は、たけべ乳腺外科クリニックのHPをご覧ください。(http://www.takebe.gr.jp/)

乳がん看護認定看護師さんからのおたより

無いものは作っていく

JA 秋田厚生連 平鹿総合病院

乳がん看護認定看護師 武石 優子さん

乳がん看護という領域で頑張っていくことを決意してから15年以上の月日が流れ、平成26年4月から生まれ育った秋田県に戻り看護師として働いています。看護師として20年の経験を積んできましたが、秋田県内の病院で勤務するのは初めてです。これまで乳腺クリニック、日本一患者さんの多いがん専門病院とそれぞれ特徴のある医療機関で経験を積ませていただくことができ、経験や全国の医師や看護師の方々とのつながりから得たことを、地元の患者さんやご家族へのケアに生かしていきたいと思いました。

これまでの恵まれた環境通りにはいかないこともあり、正直、価値観の違いに戸惑うことも多かつ

たですが、自身の解釈を広げて改めて考えると少しずつ受け入れていけるようになってきました。それも秋田という生まれ育った土地の言葉や人の良さが妙に懐かしくも心地よく感じられたからと思っています。

また、秋田県では乳がん看護に限らず、がん看護やがん患者さんのサポート体制等について医療機関を超えて、看護大学の教員、大学病院職員、がん領域に携わる医療者、専門・認定看護師のネットワーク等が連携し協力できる体制ができてきています。

「無いものは作っていく」という精神で乳癌領域に飛び込み、沢山の仲間(全国の医師や看護師)がサポートしてくださいました。秋田ではこの精神が大いに役に立ちそうです。これからも皆様に興味を持ってもらえる活動をしていきたいと思っています。

オ フィシャルサポーター活動のご紹介

Diana 

プロポーションづくりのダイアナ

<http://www.diana.co.jp>

1986年京都市で補整下着メーカーとして設立された(株)ダイアナ(徳田充孝社長)は、94年に本社を東京都渋谷区に移転。創業以来、プロポーションメイキングの総合コンサルティング企業として、女性美を追求し続けている会社です。

同社は補整下着のほか、化粧品やヘアケア商品、栄養補助食品などを取扱っていますが、お客様に提供する商品を『道具』と呼んでいるそうです。その理由は「私たちが提供するの、お客様の美を叶える“コト”。商品というお道具は美しさを提供する過程の一部なのです。」(小野由加子CRM企画推進部次長)

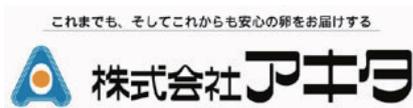
企業理念の一環として様々な形で社会貢献活動に取り組んでおり、ピンクリボン活動はいち早く06年2月にNPO法人J.POSHのオフィシャルサポーターに登録。以来、乳がん検診の呼掛けや周知活動、そして寄付やグッズの購入で協力して頂いています。

全国に約800店のサロンを配置する同社は、女性顧客との接点が多い。「実際に乳がんで手術をされた方のためにシリコンパッドをご用意したり、無料で弊社のブラジャーにパッドポケットをつけるサービスも行なっています」(同)と話して下さいました。ピンクリボン運動を柱に、子宮頸がん啓発、国際的な女性支援活動を通じて、社会貢献に力を入れていく方針との事です。



小野由加子
CRM企画推進部次長

オ フィシャルサポーター活動のご紹介



<http://www.akitatamago.co.jp>

広島県福山市に本社を置く(株)アキタ (秋田善禎社長)は、鶏卵の生産から販売まで手がける業界大手の企業。「食品としての安全性を求め、完全な直営一貫生産を貫き《厳格仕様マーク》に表現した」広島県内を中心に千葉県や静岡県にも採卵農場をもつほか、東京・大阪・福山に営業所を設け全国に向けて販売を展開。主に近畿エリアを対象にした営業拠点である摂津市鶴野の大阪鶏卵センター(眞鍋耕一所長、社員30人うち女性8人)が、J.POSHのオフィシャルサポーターに登録したのは2009年5月。以後サポーターを継続して頂いています。

大阪鶏卵センターがオフィシャルサポーターに登録したのは、こんなきっかけでした。「5年前、福山営業所に勤務していた社員の奥さん(当時52歳)に乳がんが見つかり闘病生活を余儀なくされてしまいました。この従業員のご家庭は小さな子どもも居り、我々職場の仲間たちも他人事とは思えず、何かしてあ

げられることはないかと心を痛めていました。そんな時知ったのが乳がんに関する啓発・支援活動を行っているJ.POSHさんでした(眞鍋所長)。それ以後、J.POSHに毎年一定額の寄付金をして頂いているほか、従業員がピンクリボンバッチを着用。イオンやライフなどのスーパーで小売している同社のパック卵『げんまんE』のパッケージにはJ.POSHのピンクリボンマークが印刷され、消費者の皆様にご自己検診をアピールして頂いています。



大阪鶏卵センター眞鍋所長

眞鍋所長は、「当社の本社を始め全国に散らばる事業所、更にはお客様にもこの運動に関する情報発信を続け、様々なイベントにも積極的に参加して社会に貢献していくつもりです」と、話しておられました。



「げんまんE」パックにピンクリボンマークを印刷し、顧客へアピール

Luna

日本ルナ株式会社

<http://www.nipponluna.co.jp>

日本ルナ株式会社(京都府八幡市、伏見浩二社長)は、発酵乳、乳酸菌飲料、菓子類、清涼飲料水などの製造・販売会社。「のむヨーグルト」、「フルーツヨーグルト」、「バナナヨーグルト」、「ヤーコンヨーグルト」等々、ヒット商品は多数。1964年に大阪府内で関西ルナとして設立され、92年に日本ハム(株)と資本・業務提携し、01年現社名に変更。社会貢献活動に力を入れていて、09年10月にJ.POSHのオフィシャルサポーターに登録されました。

ピンクリボン運動を始めたきっかけは、女性向け商品「夜中のヨーグルト」の開発と販売に際してでした。2007年から2012年にかけて販売された同ヨーグルトシリーズは、女性社員を中心としたプロジェクトにより誕生したもので、「女性を意識したお洒落なヨーグルトの容

器にピンクリボンマークを印刷し、消費者の皆様にご乳がんに対する啓発を行いました。」(畑方代マーケティング部商品開発課長)。

このほか、本社と関東工場に募金箱を置いて募金を集めたり、啓発ポスターを社内に貼って来社するお客様にもアピールされています。女性社員には、偶数年ごとに乳がん検診費用全額が支給され、受診率も上昇しているとの事です。



「夜中のヨーグルト」シリーズの容器に印刷されたピンクリボンマーク

オ フィシャルサポーター活動のご紹介

兵庫日産自動車株式会社

<http://www.hyogo-nissan.co.jp/>

兵庫日産自動車(神戸市中央区、西川博之社長)は、日産車の新車・中古車販売、点検・整備、用品販売、保険代理店業務などを兵庫県内で展開している。

同社がJ.POSHのオフィシャルサポーターに登録されたのは2013年4月。「女性とお子様優しいお店 兵庫日産」「女性のお客様が来店したい、来た



受付窓口のピンクリボンマーク

くなるようなお店」にするための取組のひとつが、社会貢献活動であるピンクリボンへの参画と協賛でした。130人超の女性スタッフ(営業職含む)が中心になって活動をアピールされています。



試乗車のリアウィンドーに貼られたピンクリボンステッカー

同社の受付窓口で目に入るのは、ピンクリボンマークの中央にハートマークがアレンジされた独自のシンボルマーク。このマークは各営業店に配置されている試乗車のリアウィンドーに貼られているほか、社員の名刺にも印刷されています。「女性客から『ピンクリボン活動をやっているんですね。バッチありませんか?』などの反応もあります。」(松岡佳美営業支援部販売促進グループ部長)とし、「社員の中にもピンクリボン運動を初めて知った者もあり、社内啓発にも役立っています。今後も社会貢献活動の好事例として、日産グループの輪を広げていけたらいいと考えています。」(同)と話しておられました。

HEAVEN

HEAVEN Planning Co.,Ltd.

<http://ilove-heaven.com/>

「下着を通じてお客様に喜びと感動を」をコンセプトに掲げる(株)HEAVENプランニング(河内長野市、松田崇代表取締役CEO)は、補正下着の製造・ネット販売を手がける会社です。松田社長が2003年5月に創業し、11年2月に設立



と歴史は浅いものの売り上げは好調のようです。

これまでネット販売が主体だったが「お客様に実際に試着して頂くことで、お客様との接点を増やしていきたい。」(橋本裕香執行役員事業統括部長)と、2月13日に大阪市中央区伏見町に試着体感サロンをオープンされました。「当社の主力商品はブラジャーであり、ピンクリボン活動は最も身近な存在。サロン開設を機会に、直接お客様に対して乳がんの啓発に力を入れていきます。」(同)と話しておられました。



大阪市内にオープンした試着体感サロン

J.POSHのホームページに クレジット決済機能と、 個人サポーター登録機能を追加。

2015年4月1日より、J.POSHのホームページにクレジット決済機能を追加します。また、これに伴い個人サポーター登録をハガキだけでなくホームページ上からも登録できるように入力画面を設けています。

従来の個人サポーターハガキには、J.POSH活動への参画を前提に、「活動に参加できる曜日」「特技や趣味など」の情報を登録していただきましたが、参画いただける活動もほとんど無く。せっかくの皆様の活動意欲をそこなうものでした。この紙面を借りてお詫び致します。

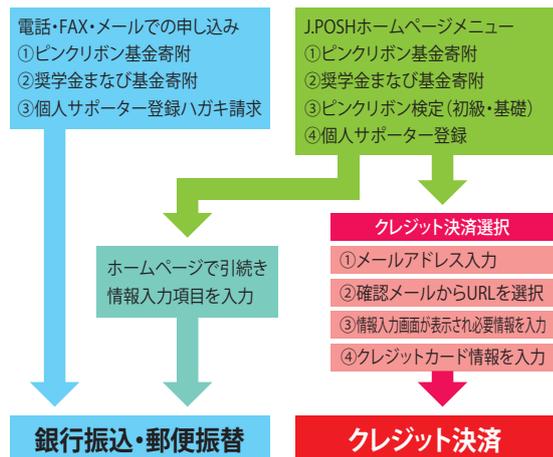
今後は、このピンクリボンニュースジャパン以外に

Facebookを立ち上げ、情報のタイムリーな発信だけでなく、ボランティア協力が必要な場合には、Facebookからも呼びかけるようにします。コンピュータやスマートフォンに不慣れな皆様には申し訳ありませんが、ピンクリボンニュースジャパンでの掲載もあわせて行いますので、今後もご協力をよろしくお願いいたします。

さて、クレジット決済システム導入には、さくら情報システム株式会社さんの寄付金クラウドとSMBCファイナンスサービス株式会社さんの決済ステーションを利用し、安全で信頼できるクレジット決済を行うことができますようになります。利用対象と方法については、クレジット決済の流れ(図1)を参照下さい。

コンピュータやスマホが中心の機能追加ですが、従来からの電話やFax、メールやお手紙と併用して、ピンクリボン運動のより良い発展を目指したいと思っています。

(図1)クレジット決済の申し込みの流れ



申し込み内容	クレジット 決済	銀行 振込	郵便 振替
ピンクリボン基金	○	○	○
奨学金まなび基金	○	○	○
ピンクリボン検定 (入門・基礎・発展)	○	○	×
個人サポーター登録料	○	○	○
グッズ購入	×	○	○
啓発ポスター/ティッシュ/ リーフレット	×	○	×

PRNj 春号あとがき

昨年暮れ、当事務局宛に「下呂観光ホテルしょうげつ」(岐阜県下呂市)の女将・長坂正恵さんから1通のメールを頂きました。しょうげつさんはJ.POSHの温泉パートナーに登録されているほか、長坂さん個人は地元で乳がん啓発活動を展開、ピンクリボン活動に大きな支援を寄せて頂いています。メールの要約は以下の通りです。

「地元の医療機関などに《日曜日に乳がん検診を受けましょう》というJMSのポスターを張って歩いていたときの事です。顔見知りの方から『あなたに言われなかったら乳がんをみつけられなかったわ』と声を掛けられました。私がある集まりの席で、“一度検査に行きましょう”と呼びかけたことがきっかけとなり、検診を受け

たところ乳がんが発覚。手術を受け、先日無事に退院することができた、ということでした。早期発見のお手伝いできて本当に良かった。私自身の喜びでもあります。微力ながらこれからも活動を続けていこうと決意を新たにいたしました。」

感動的なお話です。ピンクリボン活動を展開するJ.POSHにとっても、大きな励みになりました。多分、罹患した本人が積極的に表には出さないため表面化はしないものの、水面下で同じような話は少なくないのではないでしょうか。がんは早期発見が大きなポイントです。皆様の暖かいご支援の輪が、悲しみを減らす大きな輪の広がりにつながっていくことは間違いありません。(T・I)